

ひとり暮らしを支えあう



NPO法人
でんでん虫の会

団体の目的

- でんでん虫の会は、
- **ひとり暮らし**をされている社会的弱者といわれる
元ホームレス、高齢者、障害者。DV被害者などへの安否確認、相談活動を通じて**孤立を防ぎ**
- 社会参加や相互交流の機会を作りながら**人と人との絆を深め**
- **安心して暮らせることの出来る地域作り**に寄与する事を目的とし、活動を行っている。

毎週水曜日あいぽーとでのおしゃべり会



地域交流活動

でんでん虫の家 ・ 調理実習 ・ イベント出店



ささえ愛サービス

- 病人の見舞いや通院同行、入院や手術手続きの代行
- アパート入居の際の不動産紹介(身元引受)
- アパート入居者同士の交流
- 逝去後の諸整理とお見送り
- 生活費・物資調達のお手伝い ・ 金銭管理
- 生活保護などの申請同行代行

活動に対する評価、反応または成果

- 熊本地震後、各避難所での、会員同士のささえあいにつながった。
- 震災で転居が必要になった一人暮らしの方の身元引受依頼が、医療・福祉・行政などの専門機関から多数寄せられた。
- 制度の狭間で支援が必要な方(障害手帳取得に至らない、介護保険適応の年齢ではない、住所不特定。...成年後見人は医療時の緊急対応ができない。)にとっては、当会なしでは、支援が受けられない。

支援してほしいこと

- **経済的な助成**。(わくわく基金・JP年賀寄付金・共生地域創造財団・WAM・JT・パルシステム・フランスベッド等々)、収入のうち助成金の割合が五割から八割が実情。
- 共生地域交流センター(大江校区)立ち上げのための**場所提供**(空き家)
- 理解者、協力者、支援者を増やすための**広報支援**
- 日頃の活動を共にささえあう**会員(賛助会員)**